全身麻酔を受けた患者様で、硬膜外鎮痛薬持続投与、神経ブロック鎮痛薬持続投与、静脈内持続フェンタニルをされた患者さんへの「お知らせ」と「お願い」

当院術後疼痛管理チームでは対象患者さんの術後の経過に関して下記の研究を行っていますので、ご協力をお願い申し上げます。

この研究への協力の同意は，あなた(保護者)の自由意志でご決定ください。今回の研究 をお断りになっても，あなたの不利益になることはありません。また，同意した後でも，あなたが不利益を受けることなく，いつでも同意を取り消すことができます。その場合は，あなたに関する試料・研究データは廃棄され，それ以降は研究目的に使用されることはありま せん。ただし，同意を取り消したとき，すでに研究結果が論文などで公表されていた場合など、研究データを廃棄できない場合がありますので、あらかじめご了承下さい。この研究は， 横浜労災病院倫理委員会の承認(承認番号 2003– 10)を得ています。ご不明な点は当院麻酔科 越後憲之までお問い合わせ頂ければ幸いです。

【研究課題名】 多職種による術後疼痛管理チームがもたらす効果について

【研究概要】 令和 4 年 4 月より術後疼痛管理チーム加算が算定できるようになり、多くの施設で活動を始めるようになりました。しかし、まだ十分に整備されているところは少ななく、その効果については不透明なところがあります。そこで当院において麻酔科医・手術室看護師・薬剤師・臨床工学士・医事課職員で構成された術後疼痛管理チームが活動することでどのような効果がもたらされるかを検討していきます。

【研究の対象となる患者さん】
全身麻酔を受けた患者様で、硬膜外鎮痛薬持続投与、神経ブロック鎮痛薬持続投与、静脈内持続フェンタニルをされている方が対象となります。
【研究の期間】
2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日を予定しています。

【研究の目的】
手術後の患者さんの痛みや、気持ち悪さ、その他の麻酔に関わる合併症を他職種による術後疼痛管理チームが介入することでどのような効果がもたされるかを明らかにすることを目的としています。

【研究方法】
患者さん自身にご負担を強いるものではありません。全身麻酔を受けた患者様で、硬膜外鎮痛薬持続投与、神経ブロック鎮痛薬持続投与、静脈内持続フェンタニルをされている方が対象となります。離床開始時間や在院日数、術後合併症の有無を評価します。その臨床データを電子カルテや麻酔記録、看護記録から抽出します。提供される情報は個人が特定できないように匿名で行います。通常診療における結果やデータを使用しますので、皆様に改めて検査をお願いすることはありません。また研究成績公表の際には、皆様の個人情報が特定できないよう、細心の注意を払います。本研究に関してご質問等がございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。また、本研究へのデータの利用を拒否する場合は別途臨床研究登録拒否通知書を下記住所へお送りください。

〒222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町 3211 横浜労災病院
麻酔科部長 越後 憲之
電話番号:045-474-8111(代表)
令和 5 年 4 月 1 日

研究機関 横浜労災病院

研究担当者
主任研究者:麻酔科部長 越後 憲之
分担研究者:
看護部 鈴木知恵、長嶺園美、本間滋雄
薬剤部 高梨愛
臨床工学部 渡辺英樹
医事課　湯前隆文

情報管理責任者: 越後憲之 本公告は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って公開します。 第 1 版 令和 2 年 7 月

横浜労災病院麻酔科

臨床研究登録拒否通知書

横浜労災病院麻酔科部長 殿

私は、横浜労災病院において、収集された私の既存試料・既存情報(電子カルテ情報等)が下記臨床研究に登録されることを拒否します。

記載日: _____年_____月_____日

臨床研究課題名: 多職種による術後疼痛管理チームがもたらす効果についての研究

(患者様氏名)_____(自署・代筆)
(生年月日)_____年_____月_____日

(診察券番号)_____
※必要時記載 代筆者:(氏名)_____

(患者さんとの関係:_____)

お手数ですが、枠線内に必要事項(下線部分)をご記入のうえ下記郵 送先にお送りください。

郵送先・提出窓口

横浜労災病院 麻酔科部長 越後憲之
〒222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町 3211 番地

本臨床研究登録拒否によるあなた自身への日常の診療における不利益は一切ございません。